



江別ユネスコ協会事務局だより 2014年8月20日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当伊藤☎381-1069)

2014年度の北海道ユネスコ大会（札幌市）にご参加ください

さきにお知らせしたとおり「第48回北海道ユネスコ大会・兼2014年度北海道ブロック/ユネスコ活動研究会」は、つぎのような内容で開催されます。本年6月に知床地区で第70回全国大会が開催された影響もあって、本年度の全道大会は少し規模をコンパクトにして実施する模様です。当協会の会員の皆様にも多数ご出席いただくよう要請がきております。ふるってご参加ください。

◇北海道ユネスコ大会（開催のあらまし）

日時 2014年10月25日（土）13:00～17:00

会場 「かでの2・7」710号室（札幌市中央区北2条西7丁目☎011-204-5100）

テーマ 「希望の未来を拓くESD・ユネスコ活動～地域・スクールとの連携をめざして～」

主催 北海道ユネスコ連絡協議会・（公益）日本ユネスコ協会連盟

後援 北海道教育委員会・日本ユネスコ国内委員会・日本国際連合協会北海道本部

会費 会員1,000円、学生無料、（*会員でなくても参加できます。）

※参加希望者は、江別ユネスコ協会事務局へ申し込んで下さい。締切：9月19日（金）正午

「屯田兵の装備した兵器について」～学習会にご出席ください

先般お知らせしたとおり、北海道の歴史遺産ともいべき屯田兵制度について、世界史の中でどんな意味を持つのか、少し掘り下げて点検する目的で、学習会をひらきます。講師の江口憲人先生は北大の大学院修士課程を修め、永らく高校で世界史を教え、屯田兵の実態を詳しく分析しておられます。学習会は8月30日（土）13:30より、野幌公民館2階・研修室5号にて開催します。

札幌市が「ユネスコ創造都市」に登録されています

「ユネスコ創造都市ネットワーク（Creative Cities Network）事業」は2004年にユネスコが創設したプロジェクトです。文学・映画・音楽・クラフト&フォークアート・デザイン・メディアアート・食文化の7つの分野から、世界でも特色ある都市を認定しています。「グローバル化の進展により固有文化の消失が危惧される中で、文化の多様性を保持するとともに、世界各地の文化産業が潜在的に保有している可能性を、都市間の戦略的連携により最大限に発揮させるための枠組みが必要である」という考え方に基づいています。

「ユネスコ創造都市」に認定されるには、各都市が自発的に認定申請を行い、ユネスコが選考して決定します。札幌市は2011年の「ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会（ソウル開催）」の際に正式申請を行い、2013年11月に「メディアアーツ部門」で認定されました。2014年1月現在、日本からはデザイン部門で神戸市と名古屋市、クラフト部門で金沢市が認定されており、世界全体では41都市が認定されています。このネットワーク事業は、地方自治体が中核になって行うユネスコ活動の一例として、その成り行きが今後注目を集めそうです。

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いいたします。

